

つきたい力

取組みの概要・ポイント

1. データ・資料を読み取ったり、活用したりする能力
2. 個別最適な学びの中で、自律的に課題解決していく力
3. 探究的な学びを通して、自主的に学習に向かう力

- ・1人1台端末をただ使うのではなく、GIGA第2期に向け、各教科等の授業の中で、どのように使うのが効果的かを検証した。また、データ・資料を活用する能力の育成のために、授業の中でグラフ作成や資料活用を積極的に行った。
- ・個別最適な学びの実現に向け、各教科でGoogle スプレッドシート等を使用した授業モデルを提案した。

具体的な取組みの内容 端末の効果的な活用法を多様な場面で実践・研究する

A. 課題の明確化

- ・話すこと
- ・聞くこと
- ・データの活用

=POINT=
全国学力・学習状況調査
分析により、方針を統一!

B. 校内研究体制

<教員研修の改革>

- ・教職員がGoogleスプレッドシートやドキュメントを使った効率化と個別最適な学びを実際に体験する。



=POINT=
教職員のスキルUP
を並行して実施!

<校内研究授業>

- ・指導案に「本時で育成したい情報活用能力」「本時で発揮させたい情報活用能力」の項目を追加する。
→教科の目標に、情報活用能力の目標を関連付けた。



指導案例

C. 効果的なICT活用

<個別最適な学びと探究的な学び>

- ・Google Classroomを使用することで、授業の予習・復習等が容易になり、見通しも立てやすいというメリットが生まれる。
- ・時間割も学級のClassroomから確認できる。
- ・「学び方」を教えることで、生徒たちが自律的(計画的・主体的)に学ぶ土壌をつくる。



=POINT=
自律的に学ぶためのしくみづくり!



クラスルーム
活用例

<データ活用能力を伸ばす>

- ・生徒がグラフ・資料に触れる場面を増やし、作成方法や見方・考え方を伸ばす。
- ・資料の引用や、根拠に基づいた主張などができるよう、教科ごとに授業を見直す。



タイトル、縦軸の変更
→グラフの編集
→カスタマイズ
→系列
→トレンドライン
→完成!

<校区版ステップシート>

- ・こども園、小中学校の教員が集まる校種間連携の取組みに「ICT分科会」を新設し、9年間を見通したステップシートを作成した。→



ステップシート
南中校区版

<クラウドの有効活用>

- ・リアルタイムに共有、フィードバックを行うことでダイレクトに生徒の課題を解決することが可能となった。



=POINT=
他者参照を活用
“学び方”を知る



スプレッドシート
活用例

D. NEXT GIGA

- ・情報活用能力の育成場面・発揮場面を各教科で明確化
- ・生成AIをどのように授業で扱っていくかの研究・検証



10/30 学校公開
実践報告資料

探究的・自律的な学びの確立へ

取組みを通しての子どもの変容

最終的なゴールとして、全生徒が「自分自身でできる・わかる」を達成するために、スプレッドシートやオクリンク+を利用した他者参照などを積極的に行ってきた。その結果として、少しずつ、情報の集め方や整理の方法を理解する生徒が増え、アウトプットができるようになってきた。「今後、端末を使ってどのような活動をしたいか」という質問に対しても、「もっと自分の興味・関心について深めたい」と答える生徒が全生徒の7割以上となり、探究的な学習の定着や、自律的な学びへの意欲が見られる。